

入賞

自転車から始める交通ルール

岩出中学校 二年 山本 綾芽

私たちが普段使っている移動手段には、自動車、バイク、自転車などたくさんものがあります。ですが、それらは交通ルールをしっかりと守らないと、大事故につながってしまうかもしれません。その中で私が今回書こうと思ったのは自転車の交通ルールについてです。なぜかと言うと、私の中で一番身近な移動手段は毎日学校の登下校で乗っている自転車で、一番身近な事故にあいやすい乗り物も自転車だと思ったからです。

街中を走っていると、片手にスマホを持ちながら片手運転をして自転車に乗っている人を見かけることがあります。でもそれは、すごく危険なことだと思います。なぜなら、スマホを見ながらだと、前が見えてなくてぶつかってしまったり、片手で運転することでブレーキが間に合わなくて、ぶつかってしまったりしてしまうかもしれないからです。よく、中学生がお年寄りとぶつかってしまい、相手が亡くなってしまった、という話をよく聞きます。普段よく乗る自転車でも危険で、私たち中学生でも、加害者になってしまう場合は十分にあります。実際、私も曲がり角でカーブミラーをよく見てなくて、曲がってきた人とぶつかりそうになってしまったり、ブレーキが間に合わなくて、前にいた友達とぶつかってしまったりしたことが何回かあります。少し気をぬいてしまうだけで、ぶつかってしまったり、こけてしまったりしてしまい、とても危険です。

そこで、自転車の交通ルールについて、少し調べてみることにしました。すると、信号を守る、というルールの他にも、二人乗りをしてはいけない、二列になって走ってはいけない、かさを差して走らない、夜はライトをつける、左側通行をする、などたくさんありました。その中で、普段守れているものもありましたが、あまり守れていなかったな、というものもいくつかありました。特に、二列で走ってはいけない、というルールに関しては、友達と走っていると、一緒に話したくて、誰も通っていないからいいか、

とつい二列になってしまうことがあります。街中でも、二人乗りをしていたり、左側ではなく右側を走っている人、イヤホンなどをつけて音楽をききながら走っている人などを見かけることもあり、学校の登下校のときには、ヘルメットをつけていない人を見かけることもあります。

自転車は、小さな子どもからお年寄りの方までいろんな人が乗ることができます。ですが、私たちが普段よく乗る自転車でも、少し乗り方を間違えるだけで、大きな事故につながってしまうかもしれません。事故は、自分がけがをしてしまうだけでなく、だれか他の人にけがをさせてしまい、相手の心や自分の心も深く傷つけてしまうかもしれません。それを防ぐためには、一人ひとりがしっかりと交通ルールを守ることが大切だと思います。そこで私は、「交通ルールを守るように意識する」ではなく、「交通ルールを守るのが当たり前」というような世の中になればいいと思います。そして、交通ルールを守って、事故を一つでも多くなくし、みんなが楽しく安心して暮らせる社会への第一歩になってほしいです。